

11月25日

2014年
(平成26年)

火曜日
第18233号(日刊)
土、日曜・祝日は休刊

Metal & Technology

鉄鋼新聞

北陸・信越版

日鉄住金工材

ステンレスフラットバー

北陸新幹線上越妙高駅で採用

手すりや安全柵に

日鉄住金工材(本社 昌弘氏)の製造するステンレスフラットバーが来春開業の北陸新幹線や安全柵に採用され、上越市、社長・石川テレンレスフラットバー線、上越妙高駅の手すりとした。



東口ホール手すり、エスカレーター付近の安全柵

同社のステンレスフラットバーは熱間圧延とし、冷間圧延研磨仕上げラインで製造される。階段手すりや歩道、事務機器、装飾金物、建材金物、家庭用品など幅広い用途に採用されている。グレーチング用にノンスリップタイプも製造している。採用箇所は東口ホール手すり、東口昇降設備(エスカレーター)付近安全柵、西口フロア手すり、自由通路手すりの構造物の一部。

地域住民や県外乗降客の目に触れる著名案件であることから、素材として提案活動を行い、これまでの実績や品質が評価され採用に至った。新幹線開業に先立ち、脇野田駅が上越妙高駅の一部として移転開業し、上越妙高駅に統合される。